

JASHEN

V12掃除機 (2-in-1DCスイーパー)

取扱説明書

使用上の重要な情報が書かれています。
ご使用前に必ずよく読み、保管してください。



安全上のご注意 - 必ずお守りください

本製品を使用する前に、本取扱説明書および製品に記載されている説明および警告マークをすべてお読みください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、電気製品を使用する場合は、以下の警告 および基本的な注意事項を必ず守ってください。

安全上の警告・注意

警告は、製品、ツールやヘッド、付属品すべてを対象としています。また、該当する場合、充電器や電源アダプターも対象となります。火災、感電またはけがを防止するために必ず以下の点を守ってください。

1. 本製品をお子様や、身体・知覚・思考能力が著しく低下している方が単独で使うことは絶対にお止めください。ご使用の際には安全に使用できる環境下かつ製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用するようにしてください。そのような監督のない中で、お子様によるお掃除やお手入れは、絶対に行わないでください。
2. 子供のいるところで使用する場合は、十分注意してください。子供が本製品で遊ばないよう注意を払ってください。
3. 本取扱説明書で指示された以外の方法で、修理や整備は行わないでください。特に電源プラグ、電源コードを加工したり、修理、整備を行わないでください。
4. 乾いた床面にお使いいただけます。屋外または濡れた表面上では使用しないでください。
5. 濡れた手で電源プラグや本製品を触らないでください。
6. 電源コードや電源プラグが破損した状態で本製品を使用しないでください。事故を避けるために、JASHENカスタマーサポートへご連絡ください。
7. 本製品がうまく機能しない場合、または落としたり破損した場合は、屋外に放置したり、液体に浸してしまった場合は、使用を中止し、必ずJASHENカスタマーサポートにご連絡ください。
8. 点検、修理が必要な場合は、JASHENカスタマーサポートまでご連絡ください。製品を分解しないでください。誤って組み立てると、感電または火災につながる恐れがあります。
9. 電源コードを引っ張ったり電源コードの上に重いものを載せないでください。加熱される面から電源コードを離してください。電源コードを挟んだ状態でドアを閉めないでください。また、先端が鋭利なものや、角のまわりで電源コードを引っ張らないでください。人通りの多い場所や人が踏んだりつまじりするような場所から電源コードを離してください。電源コードを踏まないでください。
10. コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。延長コードを介しての本製品の使用はお薦め致しません。なお、タコ足配線はお避けください。
11. 水を吸い込まないでください。
12. ガソリンなど引火性液体または可燃性液体を吸い込まないでください。また、引火性液体または可燃性液体の蒸気がある場所やその近くで使用しないでください。
13. タバコ、マッチ、熱い灰など、火のついているものや煙の出ているものおよび高熱のものは吸い込まないでください。
14. 髪の毛、衣類、指などを掃除機の吸い込み口などの可動部品に近づけないよう十分注意してください。けがをする恐れがあります。ホース、パイプ、ツールやヘッドを目や耳に向けたり、口に入れないでください。
15. 掃除機の開口部に物を入れないでください。開口部を塞いだまま掃除機を使用しないでください。気流を妨げる恐れのある。ゴミ、糸くず、髪の毛などは取り除いてください。
16. JASHENが指定する付属品および交換部品のみをご使用ください。
17. 電源コードを踏んだり足を引っ掛ける等の危険のない場所に設置してください。
18. クリアピンやフィルターが取り付けられていない状態で使用しないでください。
19. 長期間使用しない場合やお手入れ点検を行う前にはコンセントから電源プラグを抜いてください。
20. 階段を掃除する場合は特に注意してください。
21. 屋外や浴室、プールの近くなど温気の多いところや水に濡れるところでは、本製品の設置、充電、使用は避けてください。本製品や充電器を濡れた表面で使用したり、雨、雪にさらさないでください。感電またはけがのもとになります。
22. 本製品の充電には、JASHENの充電器のみを使用してください。また、JASHENのバッテリーのみを使用してください。他のバッテリーをご使用になると、けがや製品のダメージにつながる破裂を起こす可能性があります。
23. 製品がひどく破損した場合であっても本製品を焼却処分しないでください。バッテリーが火の中で爆発する恐れがあります。
24. クリーナーヘッドのブラシの接続または取り外し前に、製品の運転を停止してください。
25. 警告 火災の恐れあり - 芳香剤や香りのついた製品を、本製品のフィルターに使用しないでください。このような化学薬品は 引火や火災の原因になる恐れがあります。

本取扱説明書を大切に保管してください

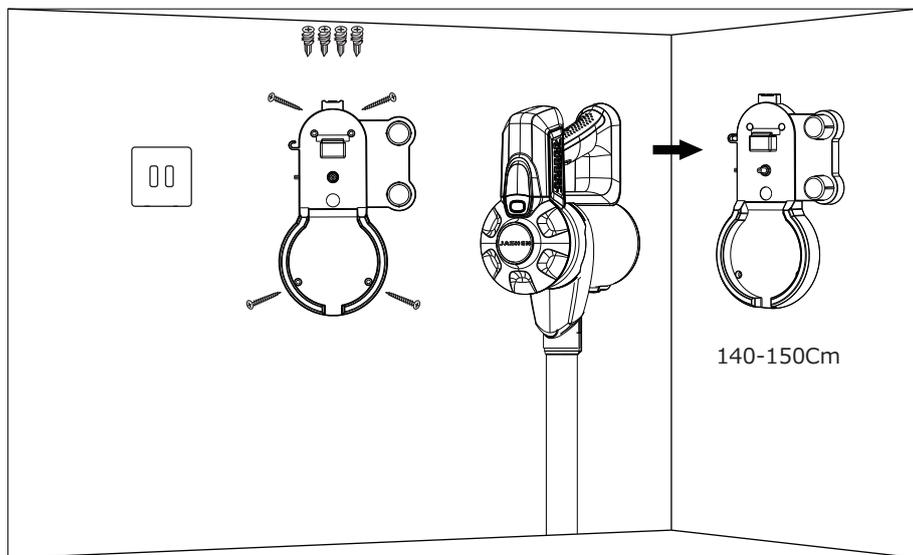
本製品は家庭用であり、業務用を意図したものではありません。本取扱説明書に従わない使用においての事故や物損に関しては一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

モーターヘッド

組み立て

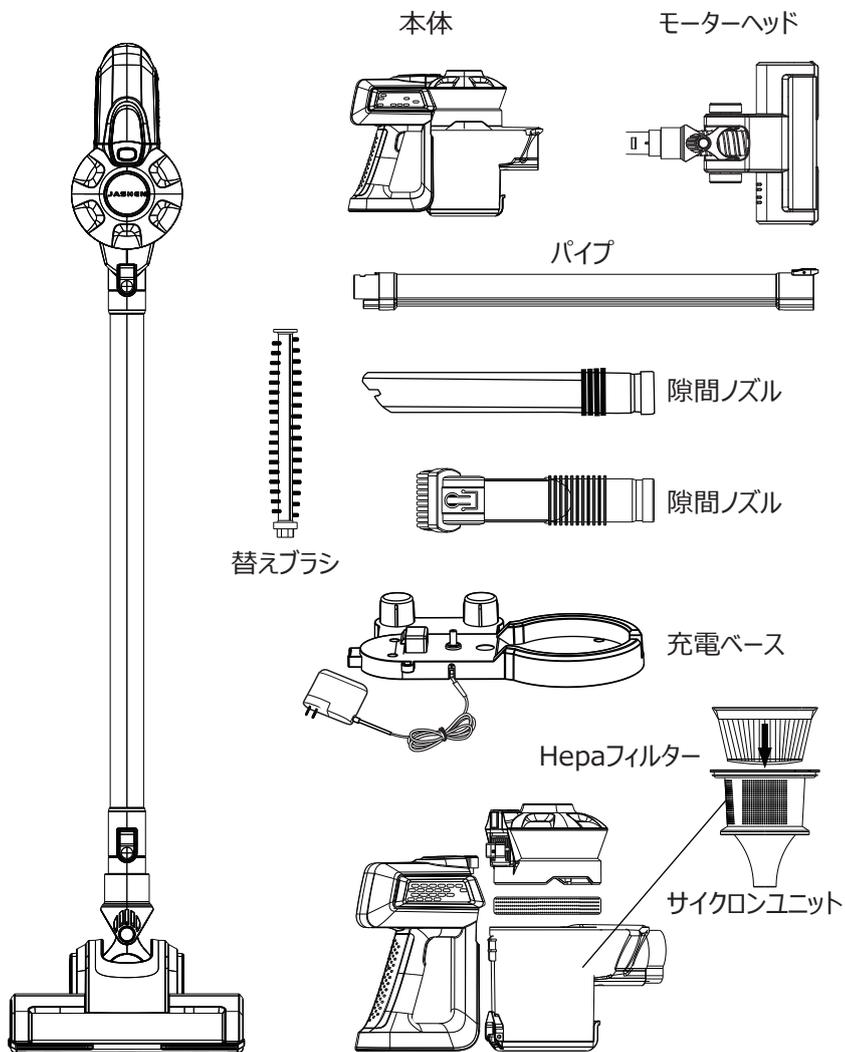


用途に合わせてクリーナーヘッドをパイプの先に設置します。



充電ベースを設置する際は、あらかじめ設置する壁の背面にガス管、水道管等の配管が通っていないことを確認した上で、設置を行なってください。
取付は、この取付説明に従って確実に行ってください。
初回のご利用は、必ずフル充電してから、ご利用ください。

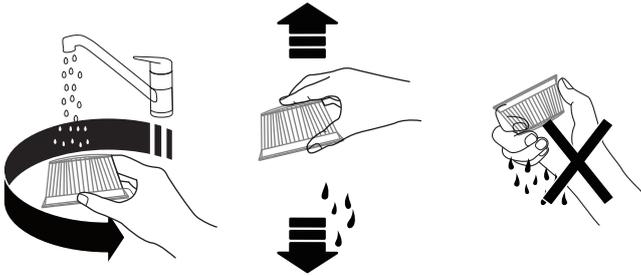
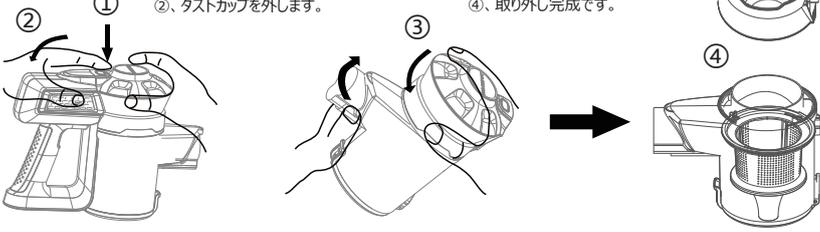
各部位の名称



フィルターの取外し

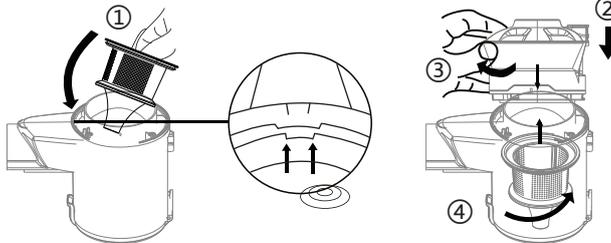
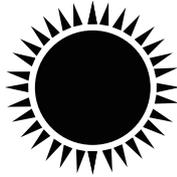
- ①、本体の取外ボタンを押します
- ②、ダストカップを外します。

- ③、ダストカップの蓋を回してください。
- ④、取り外し完成です。



水道水ですすぎ洗います。
余分な水気を切ります。
手で絞ったりしないでください

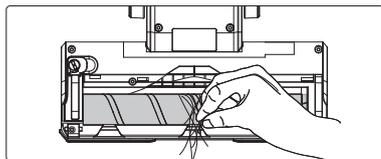
完全に乾燥させます。しっかり水気をきった
フィルターを最低 24 時間は、風通しのよ
いところで放置して乾燥させてください。



図のようにセットしてください。

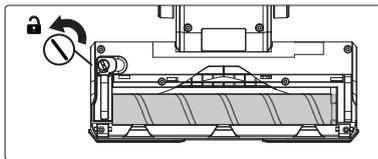


回転ブラシのお手入れ



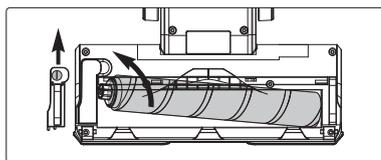
1. ゴミを取り除く

回転部に絡みついたゴミは、はさみでできり、回転ブラシの毛を切らないように取り除きます。



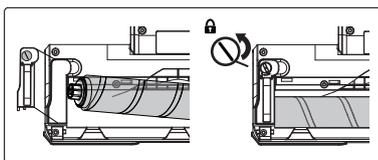
2. ブラシカバーを外す

ロックの溝にあったコインやマイナスドライバーなどを使い、ロックを図のように回して解除し、ブラシカバーを外します。



3. 回転ブラシを外す

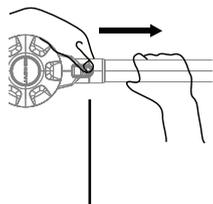
回転ブラシを持ち上げ、矢印の方向に回転ブラシを引き抜きます。



4. 回転ブラシを取り付ける

回転ブラシの歯車が付いていないほうを図のように差し込、回転ブラシを下げて、ブラシカバーをはめ、ロックの溝にあったコインやマイナスドライバーなどを使い、ロックを図のように回し、ブラシカバーを固定します。

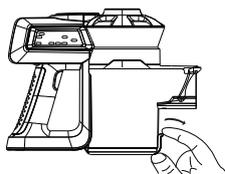
ダストカップのゴミを捨てる



取外しボタンを押す

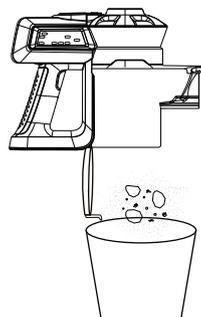
(1)

取り外しボタンを押し、パイプをからはずします。



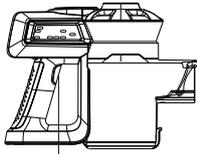
(2)

ゴミ捨てレバーを押し下げます。

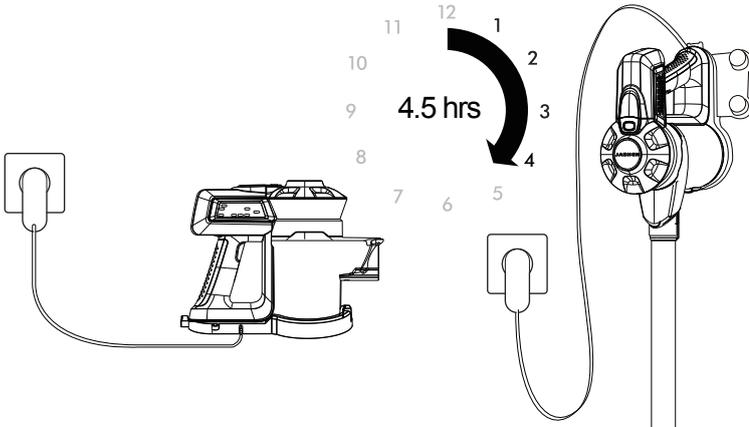
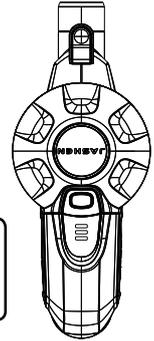
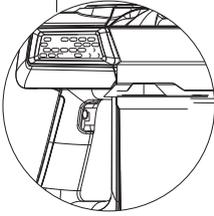


(3)

底蓋が開き、ゴミを落とす事ができます。



電源ボタン



本製品の使用方法

本製品は、電気系の配線を含みます。火災、感電またはけがを防止するために必ず本取扱説明書内、「安全上の警告・注意」をよく読み、その内容に沿ってご使用ください。

操作

- 屋外または濡れた表面上では使用しないでください。水やその他の液体を吸い込まないでください。感電につながる恐れがあります。
- ホコリやゴミがこぼれ落ちることがありますので使用中や収納時は本製品を逆さに向けたり、横に寝かしたりすることは避けてください。
- 異物を確認し取り除く際は、本製品が作動することがないようにしてください。
- 本製品は室内、もしくは車内での使用に限ります。車内にて使用する場合には、車が動いているとき、あるいは運転中に使用しないでください。
- 普通モードで運転をする際は、製品本体上部にあるスイッチを一回押してください。
- 強モードで運転をする際は、製品本体上部にあるスイッチを二回押してください。

壁掛け充電ベースの取り付け

●ご家庭の壁材に合った適切な工具をご使用の上、壁にしっかりと正しく設置されたことをご確認ください。壁掛け充電ベースを設置する際は、あらかじめ設置する壁の背面にガス管、水道管等の配管が通っていないことを確認した上で、設置を行なってください。

カーペットまたはフローリングでのご使用

- フローリング、ラグ、カーペットで本製品をご使用になる前に、メーカー推奨のお手入れ方法をご確認ください。
- 本製品のブラシは、一部のカーペットやフロアでご使用されると、故障することがあります。本製品を使用する前に、回転ブラシの使用が適しているかどうか、フローリング、敷物、カーペット等のメーカーに仕様を問い合わせるなどご確認ください。メーカーの指示に従ってください。カーペットによっては掃除機をかけるときに回転ブラシを使用すると毛羽立つこともあります。そのような場合は、コンビネーションノズルをご使用ください。
- 光沢のあるフローリングやタイル等でご使用する前に、クリーナーヘッドの底面やブラシに異物が詰まっていないかをご確認ください。床を傷つける原因となることがあります。

点検・修理と異常発生時

- 点検や修理は、本取扱説明書に記載されている内容によるもの以外は行わないでください。
- JASHEN指定の部品のみを使用してください。保証が無効となります。
- 製品は屋内で保管してください。3°Cを下回る温度下で使用または保管しないでください。ご使用前に、製品が適温に保たれていることを確認してください。
- 製品のお手入れには、乾いた布をご使用ください。製品（該当する場合は、充電器も含む）や付属品、パーツには、洗剤やツヤ出し、芳香剤等は使用しないでください。

吸引時の注意

- ダストカップやプレモーターフィルター、ポストモーターフィルターを設置していない状態で、本製品を使用しないでください。
- 細かい粉じん（石ごころの粉じんまたは小麦粉、消火器の粉など）を吸い込む場合は、ごく少量ずつ吸引するようにご注意ください。
- 異臭や故障の原因となりうる除湿剤、水や液体、湿ったゴミ、ガラス、針、ペットの排泄物が付着したものは吸わせないでください。
- カーペットのタイプによっては、フロアツールとカーペットの摩擦により、ダストカップにわずかな静電気が発生する場合がありますが、これは電源部分からの電気ではありません。このような影響を最小化するため、掃除中、掃除直後にダストカップに触ったり、ダストカップ内にホコリ以外の異物を入れたり、手を入れたりすることは止めてください。ダストカップのお手入れには、湿った布をご使用ください。
- 階段を掃除する場合は特に注意してください。
- 椅子、テーブル等の上に製品を立てかけないでください。
- 付属ツールなどのパーツに余分な力をかけないようにしてください。破損の原因になる恐れがあります。
- 傷つきやすい床面をお掃除する際、運転中は同じ位置に止めたままにしないでください。
- 床用ワックスをご使用の場合は、クリーナーヘッドの移動で、光沢に差ができることがあります。その場合は、絞った布で拭き取り、ワックス拭きをし、乾燥させてください。

ダストカップのゴミを捨てる

- 運転停止時のダストカップ内のゴミが、一部分でもダストカップのMAXラインの一番下のラインに到達する前に、ゴミを捨ててください。ゴミがMAXラインを超えた状態で掃除機を使用することは止めてください。ゴミがフィルターまで到達し、より頻繁にフィルターのお手入れが必要となります。
- ダストカップを空にする前に、製品が充電器から取り外されていることを確認します。握り手部分のトリガーを引かないようご注意ください。感電またはけがをする恐れがあります。
- ゴミを捨てる際には、事前にバイブとクリーナーヘッドを外しておくことをお勧めいたします。ゴミが捨てやすくなります。
- ゴミを捨てる際にホコリやアルゲンとの接触を最低限に抑えるため、ダストカップをしっかりとビニール袋等で包んでから空にしてください。
- <ゴミの捨て方> 製品本体の握り手部分を持ち本体を固定します。もう片方の手で、ダストカップしたのレバーを引くとダストカップの底が開き、ゴミを捨てることができます。
- ビニール袋から慎重にダストカップを取り出します。
- ビニール袋の口をしっかりと閉じ、通常通り廃棄してください。
- サイクロンを元の位置に押し戻し、ダストカップの底をカチッと音がするまで、手でしっかり閉めてください。

ダストカップのお手入れ

- ダストカップを取り外す前に、製品が充電器から取り外されていることを確認します。握り手部分のトリガーを引かないようご注意ください。感電またはけがをする恐れがあります。
- バイブとフロア用ツール、ヘッドを取り外します。
- <サイクロン部分の外し方> 製品本体の握り手部分を持ち本体を固定します。本体にあるボタンを押すと、上蓋を回すだけで、取り外せます。
- ダストカップのお手入れには、湿った布をご使用ください。
- ダストカップのお手入れには、洗剤やツヤ出し、芳香剤等を使用しないでください。
- ダストカップをお手入れする際は、洗濯機や食器洗浄機を使用しないでください。
- 元の位置に取り付ける前に、ダストカップが完全に乾いていることを確認してください。
- サイクロンを本体の溝に上からはめ込み、蓋を回すと完成です。

洗浄可能な部品

本製品には洗浄可能な部品があります。定期的なお手入れが必要となります。以下の指示に従ってください。

ブラシの洗浄方法

- 以下の指示と合わせて「ブラシの洗浄方法」のイラストもご覧ください。
- 本製品には洗浄可能なブラシが1本あります。性能を維持するため、以下の指示に従って、定期的に確認、洗浄してください。
- ブラシを取り外す前に、製品が充電器から取り外されていることを確認します。トリガーを引かないようご注意ください。
- ブラシを洗浄する際は、水道水ですすぎ洗いをしてください。（お湯、洗剤は使用しないでください。）
- 食器洗浄機、洗濯機、回転式乾燥機、オーブン、電子レンジにブラシを入れしないでください。また、裸火の近くにブラシを置かないでください。ブラシを取り外し、洗浄し、再度取り付ける方法：
- クリーナーヘッドの底面が上になるようにクリーナーヘッドを逆さまにします。コインを使ってクリーナーヘッド底面のネジを反時計回りに4分の1回転させ、ロックを解除します。
- ブラシの端のキャップをロック解除の位置まで回します。大きいブラシを慎重にスライドさせ、クリーナーヘッドから取り外します。
- 大きいブラシからキャップを取り外します。
- 重要：キャップは洗浄しないでください。
- 小さいブラシを持ち上げクリーナーヘッドから取り外します。
- 水道水で洗い流しながら、軽くこすり、ホコリやゴミを取ります。
- 両方のブラシを立てて置きます。大きいブラシがイラストのように立てられていることを確認してください。完全に乾くまで最低24時間乾かしてください。
- 取り付ける前に、ブラシが完全に乾いていることを確認してください。まず、ブラシを取り付けます。丸い方の端を所定の位置に差し込みます。カチッと音がするまで、八角形の方の端を押して所定の位置にはめてください。
- 時計回りに4分の1回転させてネジを閉じます。ネジが完全に回され、ブラシがしっかり固定されていることを確認してください。

フィルターの洗浄

- 本製品には洗浄可能なフィルターが2つあります。性能を維持するため、以下の指示に従って月に一度は2つのフィルターを洗浄してください。細かいホコリを吸い込んだ場合や、通常モードで使用された場合、また、本製品を集中的に使用された場合は、より頻繁な洗浄が必要になることがあります。プレモーターフィルターの洗浄
- フィルターを取り外す前に、製品が充電器から取り外されていることを確認します。握り手部分のトリガーを引かないようご注意ください。感電またはけがをする恐れがあります。
- 指示に従ってフィルターを定期的に確認、洗浄することで、性能を維持できます。
- クリーニング目安は1ヶ月ですが、ご使用頻度・環境により、それ以前にクリーニングが必要になることもあります。フィルターの汚れを定期的に確認し汚れていたら、その都度冷水で洗浄してください。
- フィルターを取り外す場合は、フィルターを製品上部より上に持ち上げます。
- フィルター洗浄する際は、水道水ですすぎ洗いをしてください。（お湯、洗剤は使用しないでください。）
- 水が濁らなくなるまで水道水でフィルターの外側をすすぎます。
- 両手でしっかり絞り、余分な水気を切ります。
- フィルターを逆さにして、乾かします。完全に乾くまで最低24時間乾かしてください。
- フィルターを洗浄する際に洗濯機や食器洗浄機を使用しないでください。また乾燥させる際、電子レンジやオーブン、乾燥機を使用しないでください。火の気の近くでの乾燥も止めてください。
- 乾いていないフィルターを装着して掃除機を使用したり、フィルターを装着しないで掃除機を使用することは絶対に止めてください。異臭や故障の原因となります。ポストモーターフィルターの洗浄
- フィルターを反時計回りにねじり、製品から取り外します。
- 水道水でフィルターの内側を洗い、フィルターを回転させて全てのひだを水道水で洗ってください。
- シンクでフィルターを数回優しくたたき、ホコリを取り除きます。
- フィルターがきれいになるまで、このプロセスを4〜5回繰り返します。
- 外したフィルターの上部が上を向いた状態で、24時間以上完全に乾かします。
- フィルターを本体に戻し、時計回りにねじり、元の位置に収めます。

異物の取り除き方

製品が異物で詰まっていると、モーターがバルス（素早く連続でオン・オフが切り替わる）を起こすことがあります。そのような場合は、以下の説明に従い、異物を取り除いてください。

- 詰まりを確認する前に、製品が充電器から取り外されていることを確認します。握り手部分のトリガーを引かないようご注意ください。感電またはけがをする恐れがあります。
- 異物を取り除く際は、本製品を運転させないでください。感電またはけがをする恐れがあります。
- 異物を取り除く場合は、尖った物体が挟まっている恐れがあるので、十分に気をつけてください。
- 製品本体から異物を取り除く際は、「ダストカップのお手入れ」にある説明に従い、ダストカップとサイクロンを取り外してください。より詳しいお掃除の方法は、「細かい詰まりを取り除く」にあるイラストをご確認ください。
- クリーナーヘッドにゴミが詰まった場合、コインを使用して鍵のマークの付いたネジを緩め、ソールプレートを取り外してください。
- 異物を取り除けない場合は、以下の指示に従って、ブラシを取り外してください。- ソフトローラークリーナーヘッドからブラシを取り除く、または、異物を取り除いてブラシを元に戻す場合は、「ブラシの洗浄方法」にある説明に従ってください。本製品を動作させる前に、クリーナーヘッドのネジがロックされ、クリーナーヘッドの底面とブラシが固定されているか確認してください。- ダイレクトドライブクリーナーヘッドからブラシを取り除く場合は、コインを使って鍵マークのついたネジを回し、ブラシ部分を取り外してから、異物を取り除きます。お手入れ後はブラシを元に戻し、溝にコインを合わせて回し、固定します。本製品を動作させる前に、ブラシがしっかりと固定されているか確認してください。
- 本製品はカーボンファイバーブラシを採用しています。ブラシに触れることにより、まれに皮膚に刺激を与えることがありますので、お気をつけください。気になる場合は、手を洗ってください。
- 再度使用する前に、各部位がすべて所定の位置にしっかりと取り、装着されていることを確認してください。
- 詰まった異物を取り除くことは保証対象外です。

バッテリーと本製品の収納について

- 本製品はバッテリーが3℃以下の環境におかれると、モーターとバッテリーの保護のため自動的に停止します。バッテリーの充電と収納は、3℃以下の環境下では行わないでください。
- バッテリー寿命を保つために、バッテリーが切れた直後ではなく、本体を少し冷ましてから充電を行なってください。
- バッテリー寿命を保つために、ご使用の際、バッテリーの表面を床やものに接触させないでください。

バッテリーに関する警告と注意

- 本製品専用のバッテリー以外のバッテリーや充電器は決して使わないでください。また本製品専用のバッテリーや充電器を分解、改造しないでください。
- バッテリーに衝撃を与えないでください。万一、電池が液漏れした場合は、漏れた液が皮膚や目に触れないようにしてください。皮膚や目などに触れた場合は次に従ってください。- 皮膚に触れた場合 - 皮膚に炎症が起こる可能性があります。少量の石鹼と多量の水で洗い流してください。- 吸飲した場合 - 呼吸器に炎症が起こる可能性があります。ただちに医師の診察を受けてください。- 目に触れた場合 - 目に炎症が起こる可能性があります。すぐに目を水で洗浄してください（最低15分間）。その上で必ず医師の診察を受けてください。- 廃棄の方法 - 濡れた液が手などにつかないように手袋をするなど、地域の条例に従って破棄してください。

注意

本製品に使われているバッテリーおよび充電器は、誤った使い方をすると火災あるいは化学やけどの危険を引き起こす場合があります。分解したり、60℃以上に熱したり、焼却したりしてはいけません。廃棄に関するご案内

- JASHENの製品は、リサイクル可能な素材で作られています。本製品を廃棄される際は、適切にリサイクルを行なってください。
- 本製品を廃棄する際は、事前に本体からバッテリーを取り外してください。
- 廃棄、および、リサイクルに関するより詳細な情報は、それぞれの自治体の行政窓口でアドバイスを受けてください。

保証について

このたびはJASHEN製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品のメーカー保証は購入日より1年間です。お買い上げ日から30日以内に、オンライン正規店でお買い上げいただいた注文番号で保証が適用されます。JASHEN社の迅速かつ最適なサービスを確実に受けていただけるよう、以下のいずれかの方法から連絡してください。

- support@jashen-tech.com
- [アカウントサービス]-[注文履歴]-[出品者に連絡する]
- お買い上げ日から1年以内に、製品、部品または製品の一部に製造上の瑕疵があると認められる場合、すべての部品の交換及び製品修理サービスまたは交換を無料でご提供致します。（該当する部品の生産が終了するなど部品の在庫がない場合は、JASHEN社が代替となる別の部品に交換します。）
- 修理・交換作業はすべてJASHEN社が承ります。